

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧 twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

昨今の中東情勢を受けて、当地ではディーゼルを中心としたインフラに欠かせない燃料がひっ迫し、市民の移動の足のみならず、物流に影響が出ております。そのような状況下、アフリカでは化石燃料への依存度を下げ、再生可能エネルギーへのシフトが今まで以上に注目されています。この過渡期において、日本企業の知見や技術力の活躍の場は、より広がると信じております。

当代表部ウェブサイト：https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント：https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【ジブチ】「サラーム・シティ」建設を発表

ジブチ共和国は急速な経済成長に伴う住宅需要の高まりに対応するため、「サラーム・シティ」と名付けた4.8億米ドルの住宅プロジェクトを立ち上げた。同国最大規模の住宅イニシアティブの一つとして240万平方メートルの敷地に、7千戸以上の住宅が供給される見込み。

<https://allafrica.com/stories/202603240462.html>

(2)【ケニア】花き産業が毎週数百万米ドルの損失

中東情勢悪化を受けて、ケニアの花き産業は毎週最大140万米ドルの損失を被っている。切り花や観賞用植物の需要の減少と輸送の混乱が損失の原因と指摘。

<https://www.dailymail.co.uk/wires/ap/article-15677119/Kenya-s-flower-industry-loses-millions-dollars-weekly-Iran-war.html>

(3)【エチオピア】EV組立とインフラ整備で目標を設定

エチオピアは、今後数年間で国内の電気自動車(EV)組立拠点を全国60カ所に拡大する。また、国内に存在する自動車組立ラインをEV専用に変換し、現在、稼働しているEV車を約10万台から、50万台に増やす計画。

<https://www.fanamc.com/english/ethiopia-sets-ambitious-targets-for-ev-assembly-and-infrastructure-development/>

(4)【ルワンダ・ケニア】越境決済に関する協定に署名

ルワンダ国立銀行(BNR)とケニア中央銀行は、「フィンテック・ライセンス・パスポート制度に関するキガリ宣言」に署名した。この合意は、両国の規制上の障壁を低減し、一方の国でライセンスを取得したフィンテック企業が、再度完全なライセンス取得プロセスを経ることなく他国にサービスを拡大できるようにすることを目的とし、同地域における国境を越えたデジタル決済と金融統合を強化するもの。決済サービス・プロバイダーやフィンテック企業が両国で事業を展開しやすくなることが期待される。

<https://allafrica.com/stories/202603120071.html>

(5)【ウガンダ】グレーター・カンパラのライトレール交通システム調査に関する協定を締結

ウガンダ政府は、エジプトのインフラ企業オラスコム・コンストラクションと、グレーター・カンパラ大都市圏構想におけるライトレール交通(LRT)システムの導入に向けた実現可能性調査に関する覚書に署名した。同プロジェクトは、カンパラ市内外での移動性を向上させ、近代的な公共交通システムの長期的な発展が期待される。

<https://allafrica.com/stories/202603160654.html>

■西部アフリカ

(6)【ナイジェリア】フィンランドとデジタル経済協力に関する協定を締結

ナイジェリアとフィンランドは、デジタル経済協力を深化させる新たな協定に署名した。本協定は、EU がデジタル・サービスの改善と技術人材の育成を目的とし、両国のイノベーションの拡大、公共サービスの改善、技術スキルの構築を目指す。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/nigeria-finland-sign-digital-economy-deal-as-eu-backs-tech-skills-push/qqvkbsb>

(7)【ガーナ】新たな大西洋貿易回廊を開拓するための直行海運協定を締結

・ ガーナとコロンビアは、アフリカとラテン・アメリカ間の貿易拡大と、従来の大西洋横断ルートへの依存度低減を目的に、テマ港とカルタヘナ港間の直行海運ルートの開設に合意した。これにより、輸送時間の短縮と貿易コストの削減が見込まれる。両国の取引は、現在の約320万と低水準にとどまっており、両国間の更なる貿易拡大が期待される。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/ghana-colombia-agree-direct-temacartagena-shipping-route-to-boost-trade/4s5eln9>

(8)【コンゴ民主】ロビト回廊、初の銅輸出を記録

・ カナダの鉱山会社イヴァンホー・マインズは、コンゴ民主共和国のモア・カクラ銅複合施設からアンゴラの大西洋側に向けて、銅の初回出荷を実施。これは、ロビト回廊を経由した史上初の銅輸出となり、西側諸国が支援する鉱物サプライチェーンにとって戦略的重要性を秘めている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-lobito-corridor-records-first-copper-shipment-as-canadian-miner-exports-997/yn3vb77>

■南部アフリカ

(9)【ボツワナ】気候及びデジタル技術のスタートアップを支援

ボツワナ・イノベーション・ファンドとスカラー・インターナショナルは、気候及びデジタル技術のスタートアップを支援するイニシアティブ「スカラー・ボツワナ・イノベーション・プログラム」を開始した。ボツワナが気候技術イノベーションの地域ハブとしての地位を確立するための戦略の一環として、10社のスタートアップを選定し、南部アフリカ全域でソリューションの拡大を目指す1.5億米ドルの脱炭素化ファンドと結びつける取り組み。

<https://allafrica.com/stories/202603300085.html>

(10)【モザンビーク】物流センター建設

モザンビーク当局は、北部ナンプラ州およびカボ・デルガド州における物流センターの建設に向け、約1千万米ドルの建設費を割り当てた。トプイト(ナンプラ州)およびバラマ(カボ・デルガド州)の物流センター建設費は、「Conecta Negócios」プロジェクトの一環として世界銀行からの拠出により支援。同国政府はナカラ回廊関連の需要を見据え、確実な収益を上げたいとしている。

<https://allafrica.com/stories/202603240032.html>

(11)【アンゴラ】BP とエニ、アンゴラのキルマでガス生産を開始

アズレ・エナジー(Azule Energy)は、英BP および伊ENIとの50対50の合弁事業体として、アンゴラのキルマ浅海油田での天然ガス生産を開始した。同油田の初期生産能力は1日当たり1.5億立方フィートである。同社発表によると、本年末までに最大3.3億立方フィート/日まで引き上げる見込み。

https://www.rigzone.com/news/bp_eni_start_gas_production_at_angolas_quiluma-17-mar-2026-183222-article/

(12)【南ア】電力がひっ迫し、鉱業大手、操業停止と雇用削減危機に直面

南アフリカのグレンコア社は、政府との電気料金を巡る交渉が難航しているとして、クロムと鉄の合金であるフェロクロムの精錬事業からの撤退の可能性を示唆した。電力コストを引き下げなければ、採算が取れない同社製錬所は、操業停止に追い込まれ、最大1,500人の人員を削減する可能性があると発表。同国の電力部門は深刻なコスト上昇という課題に直面しており、電力を利用するメーカーは、安価な中国産鉄鋼製品との熾烈な競争に晒されている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/swiss-mining-giant-glencore-faces-operational-shutdown-1000-job-cuts-as-south-africas/c6f33rk>

■北部アフリカ

(13)【モロッコ】電動スクーター・バッテリー交換事業拡大に向けシード資金を調達

GoSwap は、バッテリーと車両を分離する「バッテリー・アズ・ア・サービス(BaaS)」モデルを普及させるべく、Azur Innovation Fund からシード資金を調達した。同社は都市部での電動スクーター向けバッテリー交換ネットワークの拡大を目指す。

<https://allafrica.com/stories/202603300080.html>

(14)【アルジェリア】ミダッド・エナジー社との石油契約を承認

アルジェリア政府は、同国南部での炭化水素資源の開発を巡り、サウジアラビアのミダッド・エナジー社との54億米ドルの契約を承認した。アルジェリア国営企業ソナトラックは、同プロジ

エクトの契約期間は30年間、追加で10年間延長可能があることを発表した。

<https://www.agbi.com/oil-and-gas/2026/03/algeria-approves-5-4bn-oil-deal-with-saudi-midad/>

(15)【リビア】デジタル・トランスフォーメーションとネットワーク進化を加速させる覚書締結

世界的リーディング・プロバイダーである ZTE 社(中国)と、リビア大手通信事業者の LTT は、ネットワーク・インフラの近代化を加速し、リビアのデジタル経済の成長を促進するための戦略的パートナーシップに関する覚書を締結。同覚書では 4G/5G ネットワークの拡大、デジタル・サービスの加速、そしてリビアのデジタル経済のための持続可能な接続基盤の構築を目的としている。

<https://www.theregister.com/2026/03/11/ltt-zte-sign-mou-for-libya-digital-transformation/>

(16)【チュニジア】太陽光発電プロジェクトへ資金提供

チュニジア南東部で建設中の130メガワット(MW)の太陽光発電プロジェクトに日本政府の「二国間クレジット制度(JCM)」で支援。JCM は温室効果ガスの排出削減に向け開発途上国と協力する二国間イニシアティブであり、低炭素技術の初期投資費用の最大半分を賄う。

<https://www.pv-magazine.com/2026/03/19/japan-finances-130-mw-solar-project-in-tunisia/>

(17)【エジプト】130MW 太陽光発電プロジェクトに資金提供

エジプト政府は、米国のエネルギー企業アパッチ社と提携し、同国西部砂漠で天然ガスを発見したと発表。このガス田では、1日当たり約2.6千万立方フィートのガスと2,700バレルのコンデンセートを生産する見込み。同国は外資に対するインセンティブ付き政策を通じて、国内でのガス生産を拡大し、輸入削減を目指している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/egypt-uncovers-new-energy-resource-in-its-desert/rzevhnj>

■その他

(18)【アフリカ】アフリカ向けに気候変動資金4.4億米ドルの資金を承認

緑の気候基金(GCF)は、アフリカ向けの気候変動資金として4.4億米ドルを拠出。同資金は7つのプロジェクトに割り当てられる予定であり、更に協調融資を通じて11億米ドルの資金呼び込みを狙う。GCFは、国連気候変動枠組条約及びパリ協定の下、開発途上国向けの専用資金調達メカニズムとして2010年に設立された。

<https://english.news.cn/africa/20260330/d45b8a36cae140b88c3616b240ced7e1/c.html>